

令和2年度 当初予算(予算委員会)

予算委員会を3月9日に開きました。この委員会は、議長を除く議員14人で構成し、町長をはじめ関係職員の出席を求め、各会計を慎重に審査しました。審査の結果、すべての議案が全会一致または賛成多数で可決すべきものと決定しました。

町の収入

Q 広島版「学びの革新」推進寄附事業補助金で寄附となっている理由は。

A 平成30年7月豪雨災害で被害のあった学校に対する補助があるため。

Q 法人町民税減額の理由は。

A 法改正により税率が下がったもの。

Q 法人事業税交付金の増額理由は。

A 国からの割戻金によるもの。

Q 物品売払い収入で、放置自転車の売却益はどのようになっているのか。

A 引き取り料が掛かっているので、収益はない。

くらしと防災

Q 循環バスの乗降の際、段差があり困難だとの声がある。小型バスはこれを踏まえ低床のものにするのか。あるいは、台を置くなどの工夫ができるか。

A 困難である。



小型バスのイメージです

Q ふるさと納税報償品の品数は変わったのか。

A 令和元年度に拡充したものを継続する。

Q 広報かいたPDFデータ翻訳アプリを使用する必要があるのか。

A ホームページ上で多言語に対応するため。(10か国語)

Q 不法投棄印刷製本とは何か。

A ごみの出し方一覧表で、5か国語に対応したものを作成する。

Q 食品ロス削減対策、具体的に何をやるのか。

A 10月の食品ロス削減月間に合わせ懸垂幕を設置したりする。

Q 防災士育成支援が5名分では少ないのではないか。

A 県での5名分と合わせ広島市の講座を10名分確保し対応する。



防災士の認定証です

健康と福祉

Q 登山ガイドの開設内容は。

A 日の浦山への登山ガイドを開設し、月1回ガイドが一緒に登る。

Q 総合防災訓練はいつ実施するのか。

A 6月中旬ごろを予定している。

Q 海田版ネウボラ多胎妊娠への支援は。

A 母子手帳発行から6か月、8か月と出産、出産後も支援する。

Q 新生児聴覚検査の人数が出生数の半分程度になっている理由は。

A 4月からが助成の対象となっているが、出産するのは半年以上先になるため、半数程度の人数分になっている。

Q ひきこもり対策推進事業とは。

A ひきこもりに特化した相談窓口で対象者の居場所づくりや社会参加を支援する。

Q 安心サポートセンターと連携しているのか。

A 連携していく。

Q 生活困窮者に対する相談支援とは。

A 今までは職員が対応していたが、入口までしか出来ないのより専門的な支援を行う。

Q 自立相談支援事業とは。

A 就労準備支援、家計改善支援を含めた個別支援計画を検討・策定する。

Q 家計改善支援で債務整理はどうするのか。

A 法テラスを紹介し同行する。



早期にマップの配布を

Q 津波浸水・内水・瀬野川洪水ハザードマップはそれぞれどれくらい頃配布予定か。

A 津波浸水と瀬野川洪水ハザードマップは年度内なるべく早くうちに配布し、内水ハザードマップは令和3年度4月配布に向け準備する。

Q 西国街道ガイドマップを更新するのはなく現存のたくさんあるガイドマップを一つにまとめてはどうか。

A それぞれ違った要素があり、良さも違うため一つにまとめることはできない。



ガイドマップ